

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
googleから高評価を受けまくる技を伝授

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の
決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
googleから高評価を受けまくる技を伝授

しばっこ



【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

📖 はじめに

このレポートの利用に際しては以下の条件を遵守してください。

このレポートに含まれる一切の内容に関する著作権は、レポート作成者に帰属し、日本の著作権法や国際条約などで保護されています。

著作権法上、認められた場合を除き、著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部を、複製、転載、販売、その他二次利用行為を行うことを禁じます。

これに違反する行為を行った場合には、関係法令に基づき、民事、刑事を問わず法的責任を負うことがあります。

レポートの作成者は、このレポートの内容の正確性、安全性、有用性などについて、一切の保証を与えるものではありません。

また、このレポートに含まれる情報及び内容の利用によって、直接・間接的に生じた損害について一切の責任を負わないものとします。

このレポートの使用に当たっては、以上にご同意いただいたうえ、ご自身の責任の下ご利用いただきますようお願いいたします。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

目次

● はじめに.....	2
● このレポートの目的.....	4
● コンテンツの質を上げてても勝てない.....	7
● 平均ページ滞在時間の重要性.....	9
● 平均ページ滞在時間の見方.....	11
● 見出し順序の入れ換え方.....	13
ー見出し順序の入れ替え例.....	16
ー 結論が先頭でない記事が多い理由.....	18
ー「～とは?」「そもそも」が先頭に来ている.....	19
ー対策が知りたいのに原因が先に書かれている.....	24
ーイベント・おでかけ系で基本情報を先に書いている.....	27
● 見出しの中まで組み替えると効果 UP.....	31
ー見出しの中の組み替え例.....	32
● リード文に結論を書くことも有効.....	37
ーリード文の書き方の型.....	38
ーリード文の実例添削.....	45
● まとめ部分に関して.....	51
ーまとめを書く際の注意点.....	54
● タイトルに答えを書くことも有効.....	55
● 結論から書く癖をつけよう.....	57

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

📌 このレポートの目的

この度は私、しばっこから
FAAP をご購入いただきありがとうございます。

このレポートでは既存のアドセンス記事の構成入れ替えて
平均ページ滞在時間を伸ばしてライバルに勝ち、
上位表示させるテクニックをご紹介します。

アドセンスで稼ぐためには何よりも

アクセスをたくさん集めることが必要です。

これは大体 100 回のアクセスにつき 30 円と相場が決まっているため。

- 1000PV で 300 円
- 10000PV で 3000 円
- 100000PV で 30000 円

という感じで
アクセスがあればあるほど稼げます。

そして膨大なアクセスを集めるためには

「**需要のある内容を**」「**上位表示させること**」

が絶対条件となっています。

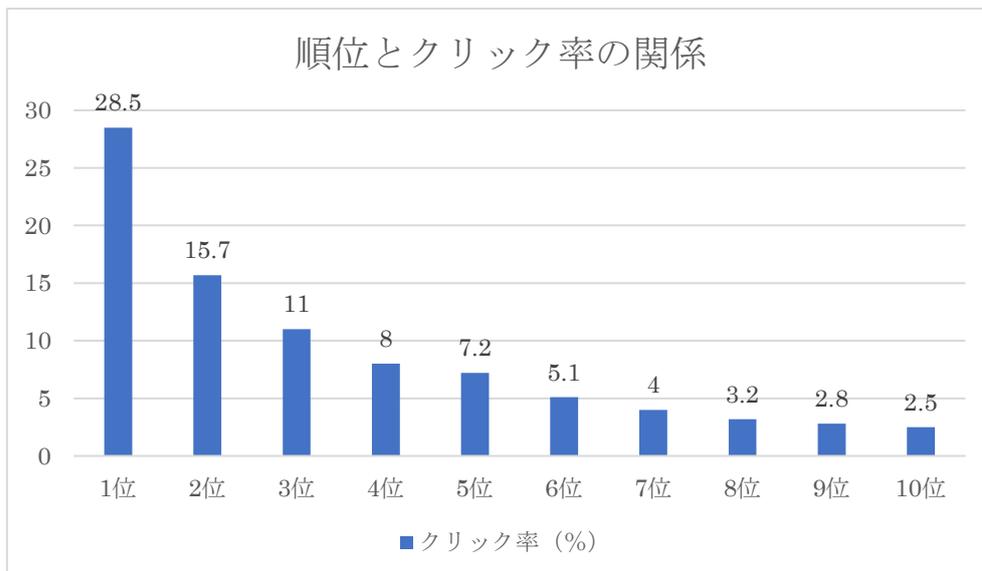
【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

例えば

- 東京のランチスポットの記事
- 人口 1000 人の町のランチスポットの記事

だったら、東京のランチスポットの記事の方が
需要があることは言うまでもありません。

どんなに良い記事でも人口 1000 人の町の記事の方が不利ですよ。ね。
また、あるデータでは記事の順位とクリック率との関係に
このような関係が成り立っていることが示されています。



引用元：SISTRIX SEO Blog

<https://www.sistrix.com/blog/why-almost-everything-you-knew-about-google-ctr-is-no-longer-valid/>

1 位と 10 位の間にはなんと 11.4 倍もの差が。

1 位がの記事が 1000 回クリックされていても
10 位の記事はたった 87 回しかクリックされないということです。

2 ページ目以降はもっとこの差が開くことになります。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

例えば東京のランチスポットの記事を書いたとしても
上位表示させられなければ稼げないということ。

なのでアドセンスで稼ぐためには

「需要のある内容を」
「上位表示させること」

このふたつが条件というわけです。

そして実は需要のある内容というのは無料ツールである程度分かります。

ですがツールで見つけた需要のある内容の記事を

「どうやったら上位表示させられるのか分からない」

といった悩みを抱えている人が非常に多いんですね。

この上位表示させられないという悩みを解決する方法が
「ライバルに勝つように書くこと」です。

「ライバルに勝つ記事の書き方」というのはいくつかありますが
今回このレポートでご紹介させて頂くのは、その中のひとつです。

【アドセンスで稼ぐ方法】

アドセンスで稼ぐにはアクセスをたくさん集める必要がある



そのためには需要のある記事を上位表示させる必要がある



上位表示させるにはライバルに勝つように記事を書く

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

📌 コンテンツの質を上げてても勝てない

ライバルに勝つということは
何かしらの要素で勝つ必要があるわけですが

まず始めに理解しておいていただきたいのが

google に評価されるために必要なものは
「コンテンツの質を上げるだけではない」ということです。

ここでいうコンテンツの質とは

- 分かりやすさ
- 情報の正確さ
- オリジナリティ
- 情報の濃さ

などのこと。

自分の記事が上位表示されない時によく考えがちなのが
コンテンツの質が悪いのではないかと

ということだと思いますが
これを極めようとするとうツボにはまりません。

google はあなたが書いた記事を
200以上の基準で評価しているのですが

あなたの記事を読んで
感動して評価しているわけではありません。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

コンテンツの質を全て数値に直して判断しているんです。

- 記事数
- 文字数
- 網羅性
- 平均ページ滞在時間
- 直帰率
- ドメインパワー
- etc…

などなど全て数字にしてランク付けしています。

要はこれらの総合得点で1位を取った記事が
1番目に表示されるというわけです。

「読者が読んでどう感じるか」という感情の部分では
google は直接判断しませんので

あくまでも

「数値でライバルに勝つ」ことが上位表示させて稼ぐためには必要です。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

平均ページ滞在時間の重要性

ではどんな風に勝つのか、という話ですが
当レポートでは

「平均ページ滞在時間」を底上げすることによって勝ちに行きます。

平均ページ滞在時間とは??

平均ページ滞在時間とは簡単に説明すると
読者が特定のページに滞在した平均時間のこと。

例えば「車のフロントガラスの洗い方」の記事の
平均ページ滞在時間が3分と表示されていたら
その記事は平均3分読まれているということになります。

※平均ページ滞在時間は Google アナリティクスで
確認することができます。（方法は後述）

この時間が長ければ長い程
じっくり記事を読んでいるということになります。

アナリティクスの解析結果をみて
直帰率やPV 数を気にする方がとても多いのですが

実は「記事滞在時間を伸ばす」というのは
記事の評価を上げるためにとても有効な方法です。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

google はコンテンツの質を数字で判断しますから

平均ページ滞在時間が長い＝価値あるコンテンツ

という風に評価してもらえます。

平均ページ滞在時間 30 秒の記事と
5分（300 秒）の記事を比べると、約 10 倍の差ということ。

30 秒の記事が評価されるまでに 10PV 集めなければならないところを
300 秒の記事はたったの 1PV で済んでしまいます。

そしてこの数値を上げる方法って実は

今ある記事の見出しの順序を入れ替えるだけで
簡単にできてしまうんですよ。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

平均ページ滞在時間の見方

平均ページ滞在時間というのは
Google アナリティクスで見ることができます。

アナリティクス画面左の項目を
「①行動」→「②サイトコンテンツ」→「③すべてのページ」
の順でクリック。



【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

すると画面中央付近に以下の項目が出現。

これが平均ページ滞在時間です。

ブログ全体の平均とページごとの平均ページ滞在時間が見られます。

平均ページ滞在時間 ?	
00:05:06 ビューの平均: 00:05:06 (0.00%)	←ブログ全体の平均ページ滞在時間
00:06:27	
00:06:24	←1記事ごとの平均ページ滞在時間
00:06:09	
00:06:21	
00:05:08	
00:05:56	
00:04:52	
00:01:55	←これは1分55秒平均ということ
00:06:23	
00:05:01	

平均ページ滞在時間は何分ならよいというものはありません。

それこそ記事の文字数によっても変わってきますので。

ただ、一般的には良くて3分程度（ブログ全体の平均）と言われてています。

これから説明する見出し順序の入れ替え方を実践すれば
簡単に3分以上は達成できると思いますので

1ページ目の後半の順位の記事など

アクセスを伸ばしたい記事を中心にリライトしてみてくださいね。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

見出し順序の入れ替え方

アドセンスの記事というのは

タイトル
リード文
見出し1
見出し2
見出し3
まとめ

という構成で書くことが多いんですよね。

そして平均ページ滞在時間を上げるときに一番重要なポイントは

読者が知りたい答えを一番先頭に持ってくることです。

見出し1：補足

見出し2：補足

見出し3：結論

という構成になっている記事があったら

見出し1：補足

見出し2：補足

見出し3：結論



このように3を先頭に持ってくるだけでOKなんです。

え！？結論を先に書いたらすぐに離脱されてしまうんじゃないの？

と思うかもしれませんが、そんなことはありません。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

むしろ逆で

先に結論を持ってきた方が

その後を書く補足的内容もしっかりと読んでくれます。

自分で検索するときのことを思い出してほしいのですが
何か答えが知りたくて検索するときって

まず記事のタイトルを読んで
知りたい答えが書いてありそうと思う
↓
クリック
↓
答えの部分まで飛ばして読む

ということがよくあるんじゃないでしょうか。

答え以外のリード文や見出しって、まずは飛ばして読みますが
答えを手に入れた後は、その後の補足内容もしっかり読むと思います。

つまり

結論から記事を構成するだけで

平均ページ滞在時間を大きく伸ばすことができるということです。

記事内容を全てリライトする必要はなく
見出しの配置を「結論を先頭に」と入れ替えるだけで
検索エンジンからかなり高評価を受けることができます。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

※見出し入れ替えの注意点

見出しを入れ替えることで文章の繋がりが悪くなる場合は
つなぎの部分を軽く書き換えてください。

また、見出しの順序を変更したことで
順位が下がる場合も無きにしもあらずなので

必ず変更前のデータを保存しておくようにしてくださいね。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

●見出し順序の入れ替え例

ちょっと極端な例を出しますね。

「アドセンス審査 記事数」

というキーワードで検索するときのことを考えてみてください。

このキーワードで検索した時に一番知りたい内容は

「アドセンス審査合格に必要な記事数は何記事なんだろう」

という部分ですよ。

にも関わらず、クリックして記事を開いたら

1. アドセンス審査の基準
2. アドセンス審査の注意点
3. アドセンス審査にかかる期間は？
4. アドセンス審査に必要な記事数は？

という順序で書いてあったとしたら

あなたは4の項目まで飛ばして読んでしまうと思います。

律儀な方は最初から目を通すかもしれませんが

ほとんどの方は結論の記事数のところまで飛ばして読むでしょう。

下手をしたら、4にたどり着く前に離脱してしまうかもしれません。

私なら離脱します。笑

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

では逆に

4. アドセンス審査に必要な記事数は？
3. アドセンス審査にかかる期間は？
2. アドセンス審査の注意点
1. アドセンス審査の基準

という順番で書いてあったらどうでしょう。

タイトルをクリックしたらすぐに「記事数」に関する記述があった。

へー。だいたい〇記事目安なんだー
思ったより多いなー。なるほどなー。

ここで答えを知って満足した状態になります。

その後に「合格までの期間」についての見出しがあったら
気になりますよね。読みますよね。

さらにその後「審査用記事の注意点」についての見出しがある
気になりますよね。読みますよね。

次の「基準」についても気になりますよね。読みますよね。

と、人それぞれな部分もちろんあると思いますが

結論から書いてある記事の方が
その後の項目が読まれる

という感覚は分かって頂けたと思います。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

■ 結論が先頭のない記事が多い理由

実はこの「結論から書く」という方法は
最近ではかなり浸透してきています。

以前はテレビ番組のように
「美味しいところは一番最後に」と教えている方もいましたが
最近はほとんど見かけません。

ただ、そのような状況にも関わらず
未だに「結論を最初に書かない」記事がたくさんあります。

この理由なんですが
私なりに分析したところ
いくつかのパターンに当てはまることが分かりました。

そしてそのどれもが
「分かりやすい記事を作ろうと思った結果」のようなんです。

ここからは、よくある失敗パターンと
何故結論を最初に書けなくなってしまうのか
その理由も一緒にお伝えしていきます。

結論から書いているつもりの方でも
つい余計な補足から書いてしまうことがあるので
自分に当てはめて読んでみてください。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

● 「～とは？」「そもそも」が先頭に来ている

一番ありがちなものとして

「～とは？」「そもそも」という項目が先頭くるパターンがあります。

このパターンをよく見かけるのが
「〇〇の使い方」「〇〇の育て方」など
〇〇の方法を解説しているような記事です。

読者は〇〇の方法を知りたいのに前置きがすごく長いんですよね。

いくつか具体的な例を出してご紹介します。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

珪藻土マットの記事例

- タイトル : 珪藻土マットのカビを撃退するための2つの方法
- キーワード: 珪藻土マット カビ

珪藻土という素材（石膏みたいな質感）でできたマットにカビが生えてしまった時の対処法を知りたい人が検索するキーワードです。

ここで、この記事の各見出しを見てみると

1. そもそも「珪藻土」とは？
2. 珪藻土マットにカビが生える原因
3. 珪藻土マットのカビを除去する方法
 - サンドペーパーで削る
 - 塩素系漂白剤を使う
4. 珪藻土マットのカビを予防する方法
5. カビが生えた珪藻土マットの再利用の方法

という構成になってしまっています。

読者はバスマットに生えたカビの取り方が知りたいのに「そもそも珪藻土とは」という項目が先に出て来ますよね。

このような記事構成にしてしまうとどうなるかというと「珪藻土マットのカビを除去する方法」の部分まで全て飛ばして読まれてしまいます。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

読者の状況を考えてみると分かりやすいです。

珪藻土のメリットを知っているから珪藻土マットを購入したのであり
多少なりとも「珪藻土」に関しての知識はすでにある

ということが予測できます。

そんな人に「珪藻土とは」という部分は必要ありませんし
それよりも目の前のカビの取り方が早く知りたいわけです。

キーワードを会話に直すと
さらに分かりやすくなると思います。

「ねえねえ珪藻土バスマットのカビってどうやって取るの？」

という人に対して

「そもそも珪藻土っていうのはね…」

という会話をしているのと同じことなので
相手にしてもらえないってことです。

「そもそも」「とは？」を先頭にする心理

どうしてこのような順序にしてしまうのかというと

- もしかしたら珪藻土という素材のことを知らないかもしれないな
という親切心から最初に配置した
- 文字数稼ぎのために「とは」という項目を入れる必要があり
自然な流れになるように配置した

という2パターンが考えられます。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

「珪藻土とは」という項目は全ての知識の前提になるものです。

珪藻土というものが分からなければ
珪藻土マットにカビが生える原因も除去方法も
意味のないものになってしまいますよね。

だから最初に配置してしまいます。

ですが、読者は「カビの取り方」が一番知りたいんです。

ちゃんと「カビの取り方」から伝えてあげましょう。
私なら以下のような順序にします。

珪藻土マットのカビを除去する方法
-サンドペーパーで削る
-塩素系漂白剤を使う
珪藻土マットのカビを予防する方法
カビが生えた珪藻土マットの再利用の方法
珪藻土マットにカビが生える原因
カビが生えた珪藻土マットの再利用の方法
そもそも「珪藻土」とは？

最初に読者が知りたい結論

「珪藻土マットのカビを除去する方法」を持ってきます。

その後は、この読者が知りたそうな順番に配置します。

結論さえ先頭に持ってくれば
以降の見出し順序はそこまで神経質にならなくてもOKです。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

今回だとカビの除去方法を知った読者は

次カビを生やさないための予防方法

通気性抜群と名高い珪藻土マットにカビが生えてしまった原因

カビがうまく取れなかった場合の利用方法

という順序で知りたいかなと思いこの順序で配置しました。

ちなみに最後の「珪藻土とは」の部分も消さずに

「最後の豆知識」的なポジションで使います。

あらかじめ必要な内容を知った後なので

「そういえば珪藻土って一体なんなんだろう。少し知っておくか」

というような状況になっているのでこの位置なら読んでくれます。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

●対策が知りたいのに原因が先に書かれている

次のパターンは読者は対策を知りたいだけなのに
原因を先に書いてしまっているパターン。

これが本当に多いです。

バナナの記事の事例

例を出しましょう。

タイトル : 切ったバナナが黒くなるのを防ぐ3つの方法！

キーワード : 「バナナ 黒くなる 防ぐ」

バナナってすぐに黒くなってきてしまうので、
少しでも長持ちさせたいなーと思っている人が検索するワードです。

この記事の見出し1の正解は

「バナナが黒くなるのを防ぐ方法から書く」です。

例えば、レモン汁を掛けておくとか、
ラップで覆って空気に触れないようにする、とかが該当します。

やりがちなミスとして

「バナナが黒くなる原因から書く」ということがあります。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

例えば

- 1 バナナが黒くなる原因
- 2 黒くなったバナナは食べてもいいの？
- 3 切ったバナナが黒くなるのを防ぐ方法
- 4 レモン汁で変色を防ぐ
- 5 砂糖水で変色を防ぐ
- 6 ナパーシユで変色を防ぐ

という流れがあります。

「バナナが黒くなる原因」から始まっていますよね。

これは間違いです。

キーワードが「バナナ 変色 原因」だったらいいのですが
「バナナ 黒くなる 防ぐ」というキーワードであることに加え
タイトルも「切ったバナナが黒くなるのを防ぐ3つの方法！」です。

確かにバナナの変色の原因から伝えた方が
その原因を踏まえての対処法を知れます。

一見スムーズな記事ですよ。

ただ、考えなくてはいけないのは

- 読者はバナナが黒くなる原因をすでに知っている可能性がある
- 原因には興味がない可能性がある

ってことです。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

そんな人がこの記事を読み始めたら、
3「切ったバナナが黒くなるのを防ぐ方法」まで飛ばして読みますよね。

ここは思い切って

「切ったバナナが黒くならない方法」（結論）
から書く必要があります。

その後に、

- 黒くなる原因
- 黒くなったバナナを食べても大丈夫なのか

ということを補足的に書いてあげれば、
気になる人はしっかり最後まで目を通してくれます。

美容系の記事にもよくありがちなパターンです。

「シミを薄くする方法」というタイトルなのに
「シミができる原因や仕組み」→「シミを薄くする方法」
の順番で書いてしまうんです。

「このキーワードで検索した人は何を一番知りたいんだろう」
これを考えて先頭に持ってくるのが重要です。

あなたが書こうと思っている「事前知識」は
読者さんはすでに知っている場合が多い。

このパターンの記事があったら
必ず「対処法（結論）」を先に配置、入れ替えしてくださいね。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

● イベント・おでかけ系で基本情報を先に書いている

※イベント・おでかけというのは

花火大会やお祭り・遊園地や観光スポットなどのこと

イベント・おでかけスポットの紹介記事にも
結論から書いていない記事がたくさんあります。

イベント記事の場合

- 開催日時
- 開催時間
- アクセス方法
- 問合せ先

おでかけスポット記事の場合

- 営業時間
- 入場料
- 所在地
- 問合せ先

などの基本情報を先頭に配置している記事がとても多いんです。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

おまつり・イベント記事の事例

「〇〇祭り 渋滞」というキーワードで考えてみましょう。

「〇〇祭り 渋滞」と検索する人は
「〇〇祭りの渋滞状況が知りたい人」です。

もうちょっと深く考えると、
「渋滞状況を知って、渋滞を回避したい人」でしょうか。

基本情報を先に書きたい気持ちは分かるんですね。

渋滞情報を書く場合は

- 渋滞状況
- 渋滞する時間帯
- 渋滞を回避する方法

あたりが書く内容になると思うんですが、
この情報を伝えるためには最低限お祭りの

- 開催日時
- 開催場所
- 駐車場情報

を知っていないと、伝わりませんよね。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

そこで大多数の方は記事構成を

- 1 お祭りの基本情報
- 2 お祭りの駐車場情報
- 3 お祭りの渋滞情報

という構成順序にしてしまうんです。

- 基本情報
- 駐車場の場所

の2点をあらかじめ知っていてくれないと

〇〇祭りは開始直後からものすごい渋滞が発生しています。
その渋滞の列は県道5号線まで続いています。
駐車場まであと2キロというところから、約2時間も掛かるんですよ。
この渋滞を回避する方法は、裏道を使うことです。…略

ってというような内容は書けませんよね。

ですが「〇〇祭り 渋滞」というキーワードで検索をする人は
開催日時も駐車場の場所も知っていることがほとんど。

開催日時も駐車場の場所も知らず

いきなり渋滞情報を検索することはほぼないでしょう。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

ほとんどの方は
〇〇祭りに行きたいなーと考えていて
HP であらかた基本情報は調べ終わって

「駐車場があるらしいから車で行きたいけど、結構渋滞するのかな？」

という状態で「渋滞」というキーワードを打ち込むわけです。

そんな読者が

「〇〇祭りの渋滞がひどい！地元民しか知らない渋滞回避術を教える」
ってタイトルの記事をクリックして

見出しが

- 1 〇〇祭りの開催日時
- 2 〇〇祭りの開催場所
- 3 〇〇祭りの駐車場情報
- 4 〇〇祭りの渋滞情報

なんて並び順になっていたら
最悪見出し1 をみた時点で離脱。

4 つ目の渋滞情報まで飛ばして読んだとしても、
そこから見出し1-3 に戻る可能性は低いでしょう。

ですから、このような記事構成にしている記事があったら
必ず「〇〇祭りの渋滞情報」を先頭にしましょう。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

■ 見出しの中まで組み替えると効果 UP

見出しを入れ替えるだけで
平均ページ滞在時間を UP させるリライト方法は以上です。

ただ、

**見出しの【内部】にもう一步踏み込むことで
さらに平均ページ滞在時間を UP させることができます。**

少し文章をいじることになりますが
かなり効果的ですので取り組んでみてくださいね。

といっても
方法は先ほどと変わらず「結論を先に書くこと」です。

分かりやすい例を用意しましたのでご覧ください。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

●見出しの中の組み替え例

■リライト前：タイトル：しいたけの匂いを消す方法

【見出し1：しいたけの匂いを消す方法は2つ】

しいたけはきのこ類特有の匂いがしますよね。
きのこが好きな人にとってはその独特な匂いがたまらないです。

でも、匂いさえなければ食べられるのに
というしいたけが苦手な人もいますでしょう。

そんなしいたけの匂いが苦手な人にお伝えしたいのが、
匂いを消すには「酒」と「天日干し」が効果的だということ。
それぞれ詳しく解説しますね。

【小見出し1：しいたけの匂いを酒で消す】

料理をする時に料理酒を入れるとさまざまな効果が期待できるので、
料理をする人であればたいてい使っていますよね。

料理酒にはコクや旨みをプラスする、味を染み込みやすくする、
素材を柔らかくするなどの効果があります。

でもここで注目したいのは、素材の生臭さを消すという効果。
この効果は、しいたけの匂いを消すのにも使えるんです。

料理酒には強いアルコール成分が含まれていて
加熱するとアルコールが飛びますが
その時にしいたけの匂いも一緒に飛ばしてくれるのです。

やり方は簡単で強火にしてしいたけを料理酒で炒めるだけ。
これだけで簡単にしいたけの匂いは消えますよ。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

これは外注さんに頼んだ記事なのですが、
外注さんに頼むとかなりの割合でこんな感じの記事が納品されてきます。

この記事の場合「しいたけの匂いを消す方法」がタイトルなので、
見出し1が「しいたけの匂いを消す方法2つ」に設定してあります。

ここまでは良さそうです。

ですが

「しいたけの匂いを出来るだけ消したい」そう思って

「しいたけ 匂い 消す」と検索した人のことを想像してみてください。

あなたがその人なら

しいたけはきのこ類特有の匂いがしますよね。
きのこが好きの人にとってはその独特な匂いがたまらないです。

でも、匂いさえなければ食べられるのに
というしいたけが苦手な人もいるでしょう。

の部分、流し読みしませんか。

いっきにスクロールして

「しいたけの匂いを酒を使って消す」
くらいから読み始めるんじゃないでしょうか。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

なのでこの記事の場合、

見出しの直後に

しいたけの匂いを消すには「酒」と「天日干し」が効果的です。
と書き始めるのが正解です。

先ほどの部分はバッサリカットするか
最後のまとめにでもまわしましょう。

この答えで最初に目を留めた読者は、
「へー。じゃあ具体的にどうやるのかな…」
と、その後の部分も全て読んでくれます。

■リライト後

【見出し1：しいたけの匂いを消す方法】

しいたけの匂いを消すには「酒」と「天日干し」が効果的です。
どちらも簡単な方法ですので、ぜひ試してみてくださいね。

という感じで書いてください。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

また同様に

小見出し内も結論から入った方がいいです。

「強火にしてしいたけを料理酒で炒めるだけ。
これだけで簡単にしいたけの匂いは消えますよ。」

の部分を先頭に持ってくるといいと思いますよ。

■リライト後

小見出し1：「酒」を使って匂いを消す方法

しいたけの匂いを酒で消す方法は
しいたけを強火で料理酒と炒めるだけです。

料理をする時に料理酒を入れるとさまざまな効果が期待できるので、
料理をする人であればたいてい使っていますよね。

料理酒にはコクや旨みをプラスする、味を染み込みやすくする、
素材を柔らかくするなどの効果があります。

でもここで注目したいのは、素材の生臭さを消すという効果。
この効果は、しいたけの匂いを消すのにも使えるんです。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

たったこれだけで

小見出し内もかなり最初から読まれるようになると思います。

不自然にならない程度に

各見出し意識して結論を早めに書くように意識してみてくださいね。

【POINTS】

見出し構成のみならず見出しの第一文から結論をかく意識が
平均ページ滞在時間につながる！

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

■ リード文に結論を書くことも有効

平均ページ滞在時間をUP させる上で
もう一つ重要なのが「リード文」です。

リード文というのはタイトルから見出し1までの間の文章ですね。

先ほどの記事構成の例で行くと

タイトル
リード文←ここ
見出し1
見出し2
見出し3
まとめ

です。

リード文は言わば記事のダイジェストのようなもの。

とても大切な部分なのですが
適当に書いてしまっている記事がとても多いんです。

テレビ番組の予告編だと思えば分かりやすいかもしれません。
予告編がつまらなければ、本編も見てもらえないということ。

google はリード文にキーワードが含まれているかも見えていますから
しっかりと書かなければなりません。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

●リード文の書き方の型

例えば…

「お風呂場 カビの取り方」
というキーワードの記事にしましょう。

こんにちは。しばっこです。

←誰が書いたかは興味ない

梅雨の季節って湿気が多くて
お風呂も油断すると即カビが生えますよね。

←生えてるから検索してる

我が家でもこの時期は
カビとの戦いを繰り返しています。

←どうでもいいです

この記事ではお風呂場のカビの取り方と
予防法について調べてまとめてみたので
よければ参考にしてくださいね。

←早く教えろ

という感じで、適当に書いてしまうと飛ばして読まれてしまいます。

また、ひと昔前に流行った

- 自己紹介
- こんなことで悩んでいませんか
- 〇〇だと気になっちゃいますよね～
- この記事では〇〇について調べたのでご覧ください

のような流れも良くないです。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

リード文で書くべき項目は

- 簡単に結論を伝える
- 記事を読まないデメリットを伝える
- 記事に書かれている内容・メリットを伝える
- どんな人に役立つのか伝える

あと可能だったら

誰が書いているのか明確にする

です。

ひとつひとつ解説していきますね。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

1. 簡単に結論を伝える

リード文では簡単に結論を伝えてください。

先ほど、見出し1に結論を書いてくださいといいましたが
この要点を一言で書けばOKです。

ex.

お風呂場のカビ掃除には「漂白剤」を使用するのが一番簡単です。
お風呂場のカビとりって大変なイメージですが
漂白剤を使うことで黒ずみまで取れるし予防にもなります。

くらいでOK。

その後の洗い方の手順など全て書いてしまうと
見出し1に書くことがなくなってしまうので、
ほどほどにしてくださいね。

2. 記事を読まないデメリットを伝える

結論を書いた後には
この記事を読まなかった場合のデメリットを軽く伝えましょう。

ex.

逆に、擦り洗いだけではカビの根っこは死滅していないので
すぐに元通りになってしまうんですよ。

という具合です。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

「この記事を読まない大変なことに…」
とかってストレートに不安を煽る必要はなく

この記事を読まない悩みは解消しないままだ
ということをやんわり伝えれば OK。

もしキーワードが「〇〇 食べ方」など
特に書くデメリットがない場合は抜かしてしまっても大丈夫です。

3. 記事に書かれている内容・メリットを伝える

この記事に書いてある項目を簡単にまとめてあげてください。

ex.
この記事では、

- ・漂白剤を使用したカビ取りの方法
- ・頑固なカビに効く重曹ペーストを利用した方法
- ・カビの予防方法

などを分かりやすく解説しています。

私は場合によっては箇条書きにしたりしますよー。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

4. どんな人の役に立つのか伝える

最後に、この記事が
どんな状況の人の悩みを解決するのか伝えてあげてください。

ex.

今現在掃除しても掃除しても生えてくるカビに困っている方
しっかりカビを掃除して今後生えずらくしたいという方には
役立つと思いますので、ぜひ参考にしてくださいね。

5. 誰が書いているのかを明確にする

これは出来たらなんですが
「どのような人が書いているのか」というのを加えると
一気に信憑性が上がるのでしっかりと読んでもらえます。

「どのような人か」というのは
「本当に悩みを解決してくれそうな人か」という部分です。

例えば今回の例だと

・お風呂場のカビをピカピカにして効果を持続できた人

とかだといいですよ。
この人の書く記事ならば信憑性がありそうです。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

これを文章に直すと

ex.

しつこいお風呂場のカビを根元から撃退して
3ヶ月効果を維持できている私がお伝えしますね。

他にもガーデニング関係なら

- フラワーショップで働いている私が
- ガーデニング歴5年で30種類以上の草花を育てている私が

家庭菜園なら

- 〇〇農家の私が
- 毎年美味しいトマトを収穫できている私が

お出かけ系なら

- 地元民である私が
- 月に一回は〇〇に通っている私が

料理系なら

- 元シェフの私が
- 味噌汁は出汁からとる本格派の私が

美容系なら

- 毎日入念に保湿してカサカサ肌を卒業した私が
- 30日間〇〇を実際に試した私が

などなど

この記事に説得力を持たせられるポジションがある方は
積極的に書いてみてくださいね。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

リード文完成サンプル

「お風呂場 カビの取り方」のリード文をまとめると

お風呂場のカビ掃除には「漂白剤」を使用するのが一番簡単です。

お風呂場のカビとりって大変なイメージですが
漂白剤を使うことで黒ずみまで取れるし予防にもなります。

逆に、擦り洗いだけではカビの根っこは死滅していないので
すぐに元通りになってしまうんですよ。

この記事では、

- 漂白剤を使用したカビ取りの方法
- 頑固なカビに効く重曹ペーストを利用した方法
- カビの予防方法

をしつこいお風呂場のカビを根元から撃退して
3ヶ月効果を維持できている私が分かりやすく解説しました。

今現在掃除しても掃除しても生えてくるカビに困っている方
しっかりカビを掃除して今後生えずらくしたいという方には
役立つと思いますので、ぜひ参考にしてくださいね。（303文字）

私はこの型の通りに、
だいたい200~300文字程度でリード文を書いていますよ。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

●リード文の実例添削

「柿の木 剪定方法」というキーワードで考えてみましょう。

実際にあった記事のリード文の流れを参考にして
こちらで例文を考えました。

■「柿の木 剪定方法」リード文

柿の木は昔から日本で馴染みある木で、多くの家庭の庭で見られます。
実も甘く美味しいので、収穫を楽しみにしている方も多いと思います。

ですが、柿の木の剪定や管理を怠ってしまうと
大きな柿の実を収穫することは難しくなってしまいます。

お店で売っているような、大きく甘い柿の実を収穫したいなら
剪定を適切に行い、栄養を実にしっかり届ける必要があります。

なので、この記事では柿の木の剪定方法を紹介していきます。

剪定の基礎知識・枝の切り方を丁寧に説明しますので
ご自分で作業するときの参考にしてくださいね。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

柿の木の剪定記事の添削詳細

まず最初の

柿の木は昔から日本で馴染みある木で、多くの家庭の庭で見られます。
実も甘く美味しいので、収穫を楽しみにしている方も多いと思います。

この部分は必要ないですね。

「柿の木 剪定方法」で検索する人は
美味しい柿の実を収穫したくて検索しているわけです。

そんな人に柿の木がなじみ深いものであることや、
収穫を心待ちにしている人が多いことなど伝えても何もなりません。

第一段落は「剪定方法＝結論を簡潔に伝えるべき」です。

ex.

柿の木の剪定は12月～2月頃に行うといいですよ。
前の年に実がなった古い枝や
混み合っている部分は間引くことが大切です。
日当たりが良くなるので美味しい実を付ける事ができます。

↑詳しくは枝の見分け方や細かい時期、注意点などあるんですが
ここでは簡単に方法を書いて

「この記事には自分の知りたい答えが書いてありそうだな」
とってもらうことがポイントです。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

ですが、柿の木の剪定や管理を怠ってしまうと
大きな柿の実を収穫することは難しくなってしまいます。

お店で売っているような、大きく甘い柿の実を収穫したいなら
剪定を適切に行い、栄養を実にしっかり届ける必要があります。

第二・三段落は一見良さそうですが
「柿の木 剪定」と検索する人は
柿の木に剪定が必要だと知っているから検索します。

なので、剪定が必要なことよりも
どんな剪定がいいのか・正しい剪定をしないとどうなるのか？
という記事要点と読まない時のデメリットを書いた方がいいです。

私なら

ex.
また柿の木の剪定は大きく成長した段階と
若木の段階で方法が違います。

切る場所や本数を間違えてしまうと実が付かなくなったり
木が弱ってしまうので注意が必要です。

このように書きます。

この記事を読めば
大きさ別の柿の木の剪定方法も分かりそうですし
若い木と成熟した木で切り方を変えないと良くないことが起こる
という読まないことのデメリットも伝えられます。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

なので、この記事では柿の木の剪定方法を紹介していきます。

剪定の基礎知識・枝の切り方を丁寧に説明しますので
ご自分で作業するときの参考にしてくださいね。

最後のパートでは記事のダイジェストを書いていきます。

「柿の剪定の方法を紹介します」だけでは弱いので

ex.

この記事では、10年間、毎年自宅の柿の木を剪定してきた私が
柿の木の大きさ別剪定方法や適切な時期をメインに紹介していきます。

自宅の柿の木を元気に育てて、
大きな甘い実を収穫したい方は参考にしてくださいね。

という感じで、「私がどんな人か」も織り交ぜつつ
記事の概要を説明。

最後にどんな人の役に立つかを伝えて終了です。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

柿の木の剪定記事リード文まとめ

まとめると

■「柿の木 剪定方法」リード文リライト後

柿の木の剪定は12月～2月頃に行うといいですよ。

前の年に実がなった古い枝や

混み合っている部分は間引くことが大切です。

日当たりが良くなるので美味しい実を付ける事ができます。

また柿の木の剪定は大きく成長した段階と

若木の段階で方法が違います。

切る場所や本数を間違えてしまうと実が付かなくなったり

木が弱ってしまうので注意が必要です。

この記事では、10年間、毎年自宅の柿の木を剪定してきた私が

柿の木の大きさ別剪定方法や適切な時期をメインに紹介していきます。

自宅の柿の木を元気に育てて、

大きな甘い実を収穫したい方は参考にしてくださいね。（262文字）

という感じになります。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

リード文のテンプレートの通りに書くと
記事への期待値が高まりますから
最後までしっかり読んでくれますよ。

見出し1の前に結論を書いてしまうと即離脱されるのでは？
という不安もあるかもしれません。

ですが、私は全ての記事でリード文に結論を書いています。

記事の見出しの構成と同じく
結論を知った読者は改めて「詳しく知りたい」と思ってくれるので
全く問題ありませんよ。

■リード文のテンプレート■

- 簡単に結論を伝える
- 記事を読まないデメリットを伝える
- 記事に書かれている内容・メリットをザックリ伝える
- どんな人に役立つのか伝える
- 誰が書いているのか明確にする（可能なら）

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

■ まとめ部分に関して

補足になりますが、最後のまとめ部分に関してです。

- 見出し順序
- 見出し内の文章の順序
- リード文

ここまでのことをしっかりと意識することで
記事の滞在時間は今までと全く違ってくると思います。

ただ、最後の「まとめ」部分の下にはアドセンス広告が貼ってありますので
まとめまでしっかりと書くと広告までしっかりと繋ぐことができます。

【まとめ内に書くこと】

- 1 メインキーワードに関する要約
- 2 補足を受けてのポイント・思ったこと

まずは見出し1で書いた「メインキーワード」に関する要約を書いて下さい。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

柿の木の剪定方法なら

ex.

柿の木を剪定するときは

- 柿の木の剪定時期は 11 月～2 月の間
- 剪定する枝は今年実をつけたもの
- 日当たりが悪くならないように注意する

ということがポイントでした。

このポイントを押さえておけば、最低限失敗することはないはずですよ。
また、若い木と大きくなった木では剪定方法が違いますので
その点は忘れないようにしてくださいね。

私の柿の木は今植えてから 15 年が経っていますが
毎年 50 個ほどの実がなっています。

この記事でお伝えした剪定方法を実践して、
美味しい柿を食べて下さいね。(230 文字)

という感じです。

記事の要点は箇条書きにしてもいいですし、文章でも構いません。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

ですが、記事が長くなって

タイトル
リード文
見出し1
見出し2
見出し3
見出し4
見出し5
まとめ

のように見出しが多い記事の場合

見出し5の内容はメインキーワードから
少し離れたものになっていることが多いです。

こうした記事の時は必ず

見出し1の内容を要約するようにしてくださいね。

また、補足情報（見出し2～5）の中で大事なというポイントがあれば
そのことについても軽く触れてあげてください。

記事内で紹介したことへの感想や実際の体験談なども積極的に書いていいですよ。
まとめは大体 200～400 文字くらいになることが多いです。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

●まとめを書く際の注意点

まとめを書く時の注意点として

「今まで〇〇について書いてみましたが、いかがでしたか？」

「いかがでしたでしょうか？」

というような

記事を読んでみてのどうでしたか？

という問いかけはしないようにしてください。

こういった文章は頻繁に見かけますし

外注さんに頼んでも「いかがでしたか？」で×に入る方が多いです。

ですが、「いかがでしたか？」という文言を使う記事に
低品質なものが多く（芸能系など）

「いかがでしたか？」と書いてある記事を
表示させない設定を行っている人も増えてきています。

NGワードとして覚えておいてくださいね。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

■ タイトルに答えを書くことも有効

結論から書くということに関して
ひとつ応用できる点があるのでご紹介します。

それは「タイトルに答えを書いてしまう」という技。

見出し1・リード文だけでなく
「タイトル」に答えをズバッと書いてあげます。

以前に試して成功した例だと

「〇〇祭り 2020 のゲスト●●●！その日の混雑状況もリサーチ」
「〇〇神社の祈祷料は●●円！参拝マナーも丁寧に解説」

というようなタイトルです。

それぞれ
「〇〇祭り ゲスト」「〇〇神社 祈祷料」というようなタイトルでした。

ライバル記事のタイトルは

「〇〇祭り 2020 のゲストは誰？」
「〇〇神社の祈祷料はいくら？」

というようなタイトルでしたので
それと差別化したくて敢えて答えを書いてみました。

タイトルに答えを書いてしまうので
それこそクリックされずに終わるのではないかと心配もしましたが

結局はかなりの数クリックされて
「〇〇祭り ゲスト」に関しては1位になりました。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

また、

「〇〇神社 祈祷料」に関しても3位まで上がることができました。

このように、タイトルに答えを書いてしまっても
「本当かな?」「詳しく知りたい」という心理が働いて
たくさんのクリックを集められることもあります。

ライバル記事と比べながら
答えを書いた方が引き立つと判断した場合には試してみてくださいね。

【秒速で閉じられてしまう記事】と
【一行目から目が離せなくなる記事】の決定的な差は〇〇！
記事滞在時間5分を叩きだして
google から高評価を受けまくる技を伝授

📌 結論から書く癖をつけよう

google の評価を上げるために重要な
「平均ページ滞在時間 UP」テクニックと考え方はここまでです。

今回紹介した考え方や
よく有りがちな失敗パターンを知っていれば
簡単に自分で投稿した記事をリライトすることができます。

自分が書いた記事が検索エンジンに評価されない時って

- コンテンツの質が悪いのではないかな
- キーワード選定が失敗しているのではないかな

などと悩んでしまう方が非常に多いのですが
実は「勝つように書く」というだけで解消してくるものです。

**今回紹介した結論を冒頭に持ってくる方法でリライトしたり
新しく記事を積み上げていけばかなり効果があります。**

また、結論から書いていないライバルが
検索結果 1 ページ目に出てきたときは簡単に勝てるチャンスです。

ぜひ「結論から書く」という
構成順序を意識して記事を書いてみてくださいね。

しばっこ

【物事で閉じる】(10/15記事)と
【一日目から目が覚める】(10/15記事)の決定的な差は0.01
記事滞在時間5分を聞きだし、
ebooksから高評価を受けまくる様を伝授

